

安倍9条改憲NO!

3000万人
署名にあなたも

県議会議員 上野たかし

市議会議員 加増みつ子 遠山ちえ子
関戸 勇 小池えつ子

明るい取手

2018年9月2日号

発行:日本共産党取手市委員会

◆日本共産党の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野 3-19-5

☎ 72-7816 Fax 72-7817

http://toride.jcpweb.net

「故・翁長知事の遺志継ぐ」知事選勝利を

「辺野古に新基地はつくらせない」「憲法と民主主義を守る」

沖縄県知事選
9月13日告示・30日投票



翁長雄志知事の死去に伴う沖縄知事選(9月13日告示、30日投票)。県政与党や経済界、労働組合、中道保守などでつくる日本共産党も加わっている「調整会議」は8月23日、辺野古新基地建設に反対する「オール沖縄」の候補として、自由党幹事長の玉城デニー衆院議員に出馬を要請。玉城氏はこれを受け、「翁長知事の遺志を引き継いでいきたい」と表明。「調整会議」は全会一致で、玉城氏擁立を決めました。

日本共産党は「オール沖縄」の一翼、市民と野党の共闘の一翼を担い、勝利のために全力を尽くします。



「オール沖縄」の「調整会議」から出馬要請を受けた自由党の玉城デニー幹事長(左から2番目)。8月28日、国会内の日本共産党控室を訪れ支援を要請。自由党の小沢一郎代表(左)が同席。共産党の志位委員長(右から2番目)、小池書記局長(右)らが応対しました。

沖縄統一選 共産党議席増・「オール沖縄」躍進を

辺野古新基地建設を許すかどうか最大の争点の知事選及び8月28日スタートの一連の沖縄統一地方選。日本共産党は急逝した翁長知事の「辺野古新基地は

つくらせない」という遺志を継ぐ玉城知事候補及び、2議席増の24共産党候補の全員当選と「オール沖縄」の勢力前進へ全力を挙げています。

■茨城県議会【8月31日～9月27日】
9月12日上野県議が質問します
東海第2原発再稼働ストップ 求めます



上野たかし県議

一般質問では原発広域避難、水道の民営化、取手競輪場などギャンブル問題、精神障害者への医療費助成、子育て支援、介護保険、取手いじめ自殺の県の責任など、みなさんの思いを取り上げます。

取手の中学生自殺問題 何よりも命を大切に社会に

2015年、取手市内の女子中学生がいじめを苦に自殺しました。この事件の1年半前、茨城県は「いじめ防止対策推進法」施行に合わせ「県いじめ防止基本方針」を作成しています。そこには「市町村への助言と支援」が書かれており、県は取手市、中学校とともに事態に当たっていたはず。「それなのになぜ、自殺はいじめによるものではない」と市教育委員会は断定したのか。二度とこんな痛ましい事件が起こらないよう、何よりも「命」を大切に社会にしていけるために質問します。

9・12(水)

県議会傍聴へ

取手からバスが出ます。
お問い合わせは、共産党取手市委員会まで

029717217816

賭博場 場外舟券 ポートレース 売り場(ポートピア)はいらない 建設反対の署名進む

突然、浮上した藤代・小浮気に来年7月開設予定のポートレース場外舟券売り場(仮称「ポートピア取手」)の計画。

該当周辺の自治会の同意が必要なため地元(小浮気・谷中)で説明がおこなわれています。7月30日、日本共産党の上野たかし県議と市議団は藤井市長に場外舟券売り場設置に同意しないことを求め要請書を提出しました。また、市民の有志は「(仮称)藤代地

域の住環境を守る会」を立ち上げ市長に対し場外舟券売り場の設置に反対する要望書の署名活動を進めています。

藤代駅や取手駅、街頭などで署名活動も市内各地に広がっています。

教育委員会や学校、PTA、区長にも場外舟券売り場設置計画を中止するための共同の要請も行っています。市民の声と運動で必ず中止させましょう。

緊急シンポジウム

9月16日(日)

取手の街づくり
とギャンブル

藤代公民館 午後1時30～

取手市議会 (9/3～21)

今議会では、29年度一般会計・国保会計などの決算審査や30年度一般会計補正予算の審議等を行います。
下記の内容で共産党市議団は一般質問を行います。議会傍聴にお出かけください。



加増みつ子 (9月5日・午後予定)

「なないろ保育所」新設に伴う市の対応等

公立舟山・吉田保育所を統合した「なないろ保育所」が、旧一中跡地で平成32年1月から開所となります。旧一中校舎解体工事に伴う振動による被害や、更には、保育所開所となれば子どもたちの声が響くなど周辺住民へ与える影響が心配との声が出され、市の責任ある対応を市長に質します。

また保育士不足による待機児童問題も深刻で、保育士の処遇改善や増員等を求めます。



遠山ちえ子 (9月6日・午前予定)

場外舟券売り場建設は認められない

ボートピアに反対の声を集めて！という

市民の声で「設置に反対する要望署名」活動が始まり、1ヶ月もない取り組みです。「ギャンブルは良くない」、「1歳になる子どももいるし、この地域にできるのは反対」と多くの方が次々署名。みなさんの声を市長に届け、「安全・安心の街へ」の視点で市長・教育長に質問します。

「いじめ問題や・・・」「学校図書室等の特別教室にエアコン整備」を求め質します。



関戸 勇 (9月6日・午前予定)

集中豪雨への備えは

各地で記録的豪雨が多発しています。旧取手地域は窪地があり住宅もたくさんあります。こうした地域の排水は集中豪雨に耐えられるのか、新たな対策を求めます。

広域避難より再稼働中止を

昨年、東海村と取手市で結んだ原子力災害協定に基づく避難訓練が7月16日に行われ、訓練に参加した村民から猛暑の体育館は「ムシ風呂状態、長くは住めない」「避難より原発なくせ」との声が出されました。取手市内に2万3500人避難など不可能、「東海第2原発は再稼働するな」こそ県民の声です。



小池えつ子 (9月4日・午後予定)

「ギャンブル施設はいらない！！ 市民のためのまちづくりへ」

小浮気・谷中地域に建設予定の新たなギャンブル施設「場外舟券売り場（ボートピア）」。

この間、市内の方々と対話でも、ギャンブルがもたらす青少年への悪影響など市民や地域に及ぼす弊害は計り知れません。ボートピア設置は多く市民の望むところでないのは明らかです。

子どもたちの未来、市民のくらしの安心のために「文化・芸術の薫るまちづくり」を推進する取手市として「市長は取手に場外舟券売り場はいらないという立場で設置には同意しないこと」を強く求めます。



「二度と戦争しない」「憲法9条を守ろう」と訴える
上野県議と市議団＝8月15日、藤代ヤオコー前

8.15 終戦記念日・平和の尊さを訴え

終戦から73年となった8月15日、日本共産党の上野たかし県議、加増みつ子、遠山ちえ子、関戸勇、小池えつ子の各市議は市内7か所で街頭宣伝を行い、戦争の悲惨さを繰り返させない決意を表明。

そして先の大戦の反省の上に作られた憲法を安倍政権が

改憲しようとしている姿勢を阻止しようと訴えました。一方、安倍首相は、全国戦没者追悼式では歴代首相が表明してきたアジア諸国への加害責任について6年連続で触れず、日本の侵略戦争への無反省な姿勢を改めて示しました。

市民団体との懇談制限

市民参加のまちづくりが後退する

市民や団体からの要求に対し、これまで市公報広聴課が、各課の調整を図り複数以上の課が一堂に会して市民との懇談会を行ってきました。ところが市は突然「申し入れが増えてくると対応できない、今後は文書回答のみとし「来年度からは複数の課が揃った懇談会は行わない」という方針を示しました。

日本共産党は「懇談会の中止は市民の声に耳をかさない市政の後退」と指摘し、これまで通りの対応を求めました。

これは、憲法の地方自治の本旨である住民自治＝住民参加のまちづくりに応える市政運営を揺るがすものです。



写真は、長年続けてきた地域住民との懇談。8月22日、取手市役所。

お知らせ
安倍9条改憲・原発ストップ！ 総がかり取手行動
へご参加を

9月15日(土)午後3時から取手駅東口広場